



MINAKO SEKI CV

関 美奈子 ダンサー、振付家、講師

Minako Seki カンパニーの創設者



経歴

1961年生まれ。雲仙市小浜町富津出身。グリム童話を日本語に翻訳した関敬吾を大叔父に、東洋宗教哲学者・児童心理学者の関寛之を祖父に持つ。1985年、「ダンス・ラブマシーン」を率いる田村哲郎と古川あんに師事。1986年、ベルリンで開催されたヨーロッパ初の舞踏フェスティバル「肉体の反乱」にダンス・ラブマシンの一員として参加。1988年、ベルリンにて「タトエバ・シアターダンス・グロテスク」の創始者の一人となる。以後はほぼ1年に2作品のペースで新作を発表。1996年、関美奈子カンパニー結成。ソロ活動開始と同時に、様々な分野とダンススタイルの交差に常に興味を持ち、コンテンポラリーダンスとフィジカルシアターと舞踏との融合を開始。1994年より1998年まで、デンマークのフィジカルシアターカンパニー「カンタビレ2」の振付家として活動する。以降、ベルリンのパフォーマンスグループ「Showcase Beat le

Mot」や「She She Pop」の振付を行ったほか、アウグスブルクの国立劇場の劇団部門にて2年間に渡り振付家として活動。ダンサーとしても毎年世界的にツアーをする。

近日のコラボレーション

イスラエル・ガルバンからフラメンコの独自解釈をした新作を作成するよう依頼を受け、2016年にバルセロナで開催されたシウタット・フラメンコ・フェスティバルにて「Equilibrio Arcaico」を発表。

スペインのダンサー、ソルピコによって監督されたコラボレーション・プロジェクトのにて、インド人のシャンタラ・シヴァリンガッパム、アフリカ人のジュリー・ダッソヴィと共に女性の現代的な状態を洞察した作品「WE WOMEN」を発表。バルセロナのグレックフェスティバル、フィレンツェのファブブリカヨーロッパ、ブエノス・アイレスのFIBAフェスティバルなどで国際的に成功を収める。



賞とアワード

2014年「パブリックアワード」『ヒューマンフォーム1』、テスピス モノドラマ フェスティバル キール、ドイツ。

2014年 「ハイデルベルクユースシアターアワード」、ショーケースビートルモットに振付した『アニマルファーム』。

2005年 「首都カルチャーファンド スポンサーシップ」 ドイツ、ベルリン。

2001年、「クルト・ヨース・プライス」の3組のファイナリスト『層』（審査員：ピナ・バウシュ）

2000 「ベストダンスソロ」：ユーロシーンライブツィヒ：『リオライザーへのオマージュ』

1994年「Besonders Wertvoll賞」『十二単』（舞台作品が映画化されたシネマ作品）
ザールブリュッケン映画祭

セキメソッド

関メソッドの芸術的アプローチは、身体を総合的にケアすることから発する。脳神経科学の一般的な情報を使い、マインドの力が如何に身体に影響するかを探究し、自分を知るための瞑想方法を取り入れる。想像力を如何にダンスの中に還元するかという試みのうえで、その二つの相乗効果によりクリエーション・マインドを向上させていく方法を生み出した。また、日本の民間療法を用いて腎臓と肝臓のデトックスをしながら血行を良くし、ダンス・クリエーションを試みている。

関のダンスのアプローチを「**Dancing Between**」と呼ぶ。2つのポイントが物理的には永遠に合わさることがないという見解に立ち、2つの点の間の永遠なる可能性を探究するやり方を言う。その2つの点の間は、物理的な距離、感情、記憶、物、音、イメージ、しぐさなどを具体と抽象の中間を走る様にして創作する方法である。この方法によって誰しもユニークな舞踊を作成することができる。



ワークショップ

関メソッドで知られた彼女のテクニックは世界の数多くのワークショップやマスタークラスで教えている。

ロンドンのローハンプトン大学、
ノルウェーのナショナルオストフォルドカレッジ、
ドイツのハンブルク大学パフォーマンス研究部、
ドイツのエッセンのフォルクヴァング大学、
ドイツのギーセン大学のユストゥス・リービッヒ大学演劇研究所、
ドイツのアルフターのアラナス芸術社会学部、
スイス、ディミトリ応用科学芸術大学、
デンマークのアカデミーオブミュージックアンドドラマアーツ、オーデンセ、
デンマークのカンタービレ 2、スクールオブステージアーツ、

ベルリンのダンスファブリック -ウファスタジオ、ドック11 -エデNSTスタジオでは
1990年より恒例のワークショップを行っている。

海外での主な活動

メキシコ国際舞踊フェスティバル (2019)
コロンビア、ボゴタ、ロスアンデス大学(2019)
Dock11 ベルリン(2000～2019)
国立劇場バレンシア(2018)
オープニングパフォーマンス、バイエルンアート&ヘルスフェスティバル(2018)
フェストスピールハウスザンクトペルテン、オーストリア(2017)
フェスティバルモビメント、ヴォルフスブルク、ドイツ(2017)
バルセロナのメルカッテフロール
バランスフェスティバル、ローマ、イタリア (2016)
マコンコ国立劇場、フランス(2016)
フェスティバルファブリカヨーロッパ。 フィレンツェ、イタリア(2016)
国立劇場サラゴサ、スペイン(2016)
グレックフェスティバル、バルセロナ、スペイン(2015)
ジローナのテンポラダアルタフェスティバル(2015)
FIBAダンスフェスティバル。 ブエノスアイレス、アルゼンチン(2015)
インターナショナルモノドラマフェスティバル市立劇場キール、ドイツ(2014)
SESCポンペイア、サンパウロ、ブラジル(2013)
ラディアルシステム V. ベルリン、ドイツ(2009)
ノイエ国立ギャラリー。 ベルリン、ドイツ (2006)